

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	2DCG基礎					科目コード	D0580C1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	永家 重行	履修グループ	1J(DG/DT/DW/MA/MT)					授業方法	演習	
実務経験の内容	グラフィックデザイナーとして20年以上の経験に付け加え、他校デザイン系専門学校にて教師として4年のキャリアも持ちます。それらの経験を活かしてDTPソフトの使い方を親切丁寧に指導します。									
学習一般目標	Adobe PhotoshopとAdobe Illustratorのオペレーション(操作方法)を身に付ける。サーティファイ主催の能力認定試験スタンダードに合格できる技術と知識の習得を目標とする。									
授業の概要および学習上の助言	CG制作のスキルを高めるためには、基本となる技術を正しく理解していることが最も重要です。我流で適当に結果だけを合わせず、授業の説明と指示を良く聞いて「正しい」やり方を理解し、覚えましょう。学習速度が速いことを目標とせず、ひとつずつ確実に理解して技術を身に付けることを目標としてください。									
教科書および参考書	Photoshop Quick Master Illustrator Quick Master									
履修に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの基本操作ができる。(マウスを使った操作やキーボードを使用した文字入力など)</li> <li>・テキストを理解し、読み進めることができる読解力。</li> </ul> ※1 PCの基本操作もレクチャーしながら授業を進めていきます。									
使用機器	7-C PC実習室にてパソコン									
使用ソフト	Adobe Photoshop CC Adobe Illustrator CC									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	Adobe Photoshop・Illustratorの基本オペレーションをひとつずつ確実に習得することができる。								
	1	積極的な態度と姿勢で授業を受けることができる。								
	1	正確な表現を基本とし、スキルアップできる。								
	1	授業に高い関心と意欲を持って取り組み、丁寧な制作作業ができる。								
	5	次回の授業に備えてあらかじめテキストに目を通し、簡単に項目を把握しておくこと。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解		10			20			30
		2.思考・判断					20			20
		3.態度							15	15
		4.技能・表現					20			20
		5.関心・意欲							15	15
	総合評価割合			10			60		30	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験										

小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	基本的なオペレーティング技術の習得が目的です。 今後の作品作りに関わってくるため、まずは正確なデータを作れることを目指しましょう。 ていねいに一つひとつの課題をこなせているか、身につけているかを評価します。
ポートフォリオ	
その他	ステップバイステップで授業が進んでいきますので、出席率や、受講態度も重要となります。 前向きに受講しているかの態度を評価します。

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション、授業紹介など AdobeIDを使ってソフトウェアへのログイン(必須) Photoshop 01 基本操作編「Chapter1:Photoshopの基本操作」の紹介	講義・実習	まずはパソコンの操作に慣れていきましょう。
第2回	Photoshop 02 基本操作編「Chapter2:選択範囲の作成・Chapter3:画像の移動と変形」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第3回	Photoshop 03 基本操作編「Chapter4:カラーモードと色調補正、Chapter5:ペイント」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第4回	Illustrator04 パスの基本的な描画 P76-82(ペンツール、直線から曲線、曲線から曲線Altキー) ペンツールの練習(直線と曲線、ShiftキーとCtrlキーとの合わせ技)	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第5回	Photoshop 05 基本操作編「Chapter5:ペイント、Chapter6:レイヤー操作」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第6回	Photoshop 06 基本操作編「Chapter7:パスとシェイプ、Chapter8:テキスト」	講義・実習	ペンツールは経験が必要です。徐々に慣れていきましょう。
第7回	Photoshop 07 基本操作編「Chapter9:フィルター、Chapter10:画像の入出力」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第8回	Photoshop08 第4回～第6回振り返り授業	講義・実習	いったん授業を振り返り、復習して操作を再確認します。
第9回	Photoshop 09 コンテンツ制作編「Chapter1:フォトタッチ」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第10回	Photoshop 10 コンテンツ制作編「Chapter2:ロゴデザイン」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第11回	Photoshop 11 コンテンツ制作編「フォトコラージュ」	講義・実習	実践を意識しながら操作をしましょう。
第12回	Photoshop 12 コンテンツ制作編「カード&ステーショナリー」	講義・実習	簡略化し、必要な情報を正確に伝える、ということを意識して作成します。
第13回	Photoshop13 課題解決型授業 第9回～第12回振り返り授業	講義・実習	いったん授業を振り返り、復習して操作を再確認します。

<p>第14回</p>	<p>課題解決型授業1 「オリジナルポストカードを作成しよう」 ①初回ラフ提出 これまでに勉強したPhotoshopの技術を生かして 写真や、文字などを入れてオリジナルポストカードのラフを作りましょ う。</p> <p>オリジナルイラストやネットから引用した写真などを加工し、 好きな企業の架空イベント、推しの暑中見舞いはがき、 アート作品や少し固めな商業的なものでもOK。 作成してもらった作品にアドバイスをします。 次回授業までに修正をして提出しましょう。</p> <p>作成期間と提出期限 作成期限は、2025年05月16日～5月31日 提出期限は、2025年06月10日の授業はじめ</p>	<p>実習</p>	<p>効率の良い操作、正確な データの作り方を目指しま しょう。</p>
<p>第15回</p>	<p>課題解決型授業2 「オリジナルロゴを作成しよう」 課題解決型授業1で作成してもらったラフにアドバイスをします。 それにもとづき期限までに提出しましょう。</p> <p>作成期間と提出期限 作成期限は、2025年06月16日～6月30日の間 提出期限は、2024年07月08日の授業はじめ</p>	<p>期日までに指定の方法 で提出</p>	<p>効率の良い操作、正確な データの作り方を目指しま しょう。</p>